

第3次長久手市男女共同参画基本計画策定にかかる庁内ヒアリング 意見概要

【実施内容】

- ・実施方法…長久手市男女共同参画推進部会に参画している関係課にヒアリングシートを配布
- ・実施時期…平成 30 年 9 月

1 市役所における女性管理職の登用に当たっての課題や問題点

男性職員の女性管理職への理解や女性自身が管理職への抵抗感など、女性管理職の登用にあって依然として意識面での課題が残ることがうかがえます。また、女性が管理職として活躍するためには、家庭生活との両立など、働き方に応じた支援や環境づくりも求められています。

主な意見
①育児休業制度取得への理解、長時間勤務の解消など、家庭生活との両立が可能な環境づくりが必要である。
②管理職登用に当たっての基準に男女差があるのか明確でない。
③女性自身が管理職への抵抗感がある。また、育休の取得等により十分な経験のないまま昇進するため、役職に自信がもてない。
④男性職員の女性管理職の登用に当たっての理解がない、抵抗感がある。そのため、女性が上級職への意欲が持てず、退職の道を選ぶ場合もある。
⑤男女問わず、管理職としての意識、資質等の育成が図れていない。真に資質のある職員が登用されていない。
⑥女性は福祉系の部署への配置が多いなど、女性管理職等の人事配置に偏りがある。
⑦女性は子どもの年齢や家庭状況により、働き方が様々であり、管理職として活躍するためには、その人の働き方の応じた支援が求められる。
⑧女性管理職を増やすうえで、対象となる女性職員の数自体が少ない。

2 市役所における男性職員の育児休業制度、介護休業制度の利用に際しての課題

男性職員の育児休業制度、介護休業制度の利用にあたっては、固定概念が残っていたり、制度の理解が十分ではないなどの面が見られ、一層の周知・啓発が必要です。

また、仕事から長期間離れることによる復帰の支援や他の職員の負担に対する支援がないと取得しづらいという意見もあります。

	主な意見
育児休業制度	<ul style="list-style-type: none"> ①育児休業制度は女性が取得するものという固定概念がある。 ②育児休業制度の理解が十分でない。制度の周知を図ることが必要である。 ③育児休業制度を利用しやすい環境が必要である。 ④男性が育児休業を利用すると、夫婦が無職の状態になり経済的補助では生活が苦しいため、経済的補助で補完できるものがあると良い。 ⑤仕事から長期間離れるため、復帰に対する不安がある。 ⑥人事評価制度を活用し、休業期間がマイナスとカウントされないような配慮をすべきである。 ⑦人員配置や業務量の状況により、他の職員への負担を考えると、後ろめたさから、長期間の休暇が取得しづらい。休業中の代替職員の確保など休みを取得しても、他の職員の負担が増えないようにする体制づくりが必要である。
介護休業制度	<ul style="list-style-type: none"> ①介護休業制度の内容が分からない。どの制度が使えるのか、証明等の必要書類の有無など制度の利用に関する知識がない。制度を活用しようという認識が浸透していない。 ②男性が介護をする風潮が浸透していない。 ③休暇取得によって、昇進や社内での関係性に影響が出てしまうことや、所得が減ってしまうことに不安がある。 ④人員配置や業務量の状況から、他の職員への負担を考えると、取得への後ろめたさがある。休業中の代替職員の確保など、休業中の運営体制の確保や他の職員の負担が増えない体制づくりが必要である。 ⑤介護保険制度でヘルパーやデイサービス、施設利用などが充実してきているので、休業の取得は増えていかないのではないか。

3 市役所におけるワーク・ライフ・バランスの率先行動として取り組んでいく必要があること

ワーク・ライフ・バランスの率先行動として取り組むべきこととして、時間外労働の削減など業務の効率化が必要という意見があがっています。

また、具体的にワーク・ライフ・バランスを推進する組織体制づくりなどの意見も見られません。

主な意見
①仕事量にみあった業務体制を構築することにより、時間外労働の削減や年休取得率の向上を推進し、長期休暇がとりやすい雰囲気づくりが必要である。
②業務の効率化や見直しを進め、時間外勤務を減らす。また、残業を減らすことが評価される仕組みをつくる。
③育児休業や短時間労働の制度を職員が気兼ねなく取得できるよう代替職員の確保等が必要である。休暇を取得しても業務が滞らない人員の配置が必要である。
④託児所の設置や働き方に柔軟性を持たせるなど、組織側の対応が必要である。
⑤男性の育児や介護への参加促進が必要である。
⑥ワーク・ライフ・バランスを推進する部会等を組織し、年に複数回継続して協議できるような体制づくりを行う。
⑦民間企業での先進事例について、情報共有できる機会を設ける。
⑧パパママ育休プラス制度の積極的な活用を個人へアプローチする。
⑨仕組みだけでなく、職員で協力し合える関係づくりが必要です。

4 審議会などにおける女性委員の参画を進めていく上での課題

各団体から女性委員の推薦・登用が少ないという意見が上がっており、各団体へ女性委員の参画を進めるよう周知していくことが必要です。

主な意見
①各団体から女性委員の推薦が少ないことが多いため、各団体へ女性委員の参画を進めるよう周知する必要がある。
②審議会の会長が男性の場合が多く、開催時間や曜日等、女性が参加しづらい状況がある。託児など女性が参加しやすい環境をつくる必要がある。
③審議会の女性委員の実績や成果、感想等を紹介、PRすることにより、意識改革などを図ることが必要である。
④市役所のプロジェクトチーム等においても、メンバーの30%以上を女性職員にしてもよいのではないかと。
⑤委員の候補となる女性の情報不足がある。
⑥人材の発掘のため、団体、企業にも男女共同参画の理念の大切さを知ってもらう必要がある。
⑦学識者や関係団体等から委員を登用する場合、女性委員の登用が少ない。選考方法等の検討が必要である。

5 業務を通じて市民と接する中で、性別役割分担意識や性別による差別、あるいは地域でのしきたり等で、改善すべきだと感じること

地域のお祭りにおける役割や会議の出席者などの代表者などに、固定的性別役割分担意識が残っている様子がうかがえます。また、市役所業務においても受付や窓口、清掃などの業務に携わるのは女性の割合が高いという意見が見られます。

主な意見
①長久手の伝統行事の警固まつりについて、女性の鉄砲隊への参加など改善の余地がある。
②地域のお祭りで、男性はあまり動かずに、雑用を女性達で行っている場合がある。
③市役所業務や委託業務において受付や窓口、清掃などの業務に携わるのは女性の割合が高い。性別役割による固定観念が残っているため意識改革が必要である。
④まちづくりにおいては性別や年齢は関係なく参画することが重要である。
⑤児童クラブや放課後子ども教室の保護者からは、男性指導員は遠慮してほしいという声を時々聞く（児童のトイレや着替えの対応）。
⑥子ども会、PTAなどに男性の参加が少ない。
⑦地域を代表して会議に出席する方が男性という慣習があるため、改めたほうがよい。
⑧市主催でワークショップ等イベントを実施する際、そのグループリーダーとして男性になることが多いと感じる。

6 長久手市の男女共同参画を進めていくうえで、今後力を入れていくべき施策や取り組み

引き続き、学校や企業、地域社会に男女共同参画意識を浸透させていく必要があるという意見が多くあります。また、保育園や介護施設、サポート体制等、仕事と家庭を両立させていくための支援も重要視されています。

主な意見
①男性の育児休業取得率の向上を推進する。
②職域の拡大のため、女性がこれまで担当してこなかった仕事にも従事する。
③市全体として、個人の個性や考え方等の多様性を認めていくことを、学校教育や地域社会に浸透させていく。
④安心して、子育てでき、介護できるよう保育園や介護施設、サポート体制等の充実
⑤40代以上の層への意識改革。
⑥男女共同参画をテーマとして、たつせ、子育て、生涯学習の3課によるイベント等の実施
⑦男女共同参画を継続して取り組んでいける組織体の構築、協議の機会を設ける。
⑧市内事業者に対して、育児休業・部分休業・介護休業の取得割合に応じて、一部入札を有利にする等の施策。
⑨市内公共施設、市内店舗等で男性トイレにもおむつ替えシートの設置、介護用トイレの設置等を進める。
⑩保育所や子どもの預け先の充実、職場内保育所の整備が必要である。
⑪防災分野での女性の視点を加えて計画を立てる。
⑫男女共同を推進している事業所や市役所の取組事例の紹介を広報等で実施していく。

団体ヒアリングの結果概要

長久手市における子育て中の保護者や地域活動団体、商工会、企業等を対象に、日頃の生活の中で感じている課題や、今後の市における男女共同参画推進のための施策に期待すること等について聴取し、今後の施策を検討するためのヒアリング調査を実施しました。

【実施内容】

- ・実施方法…長久手市で活動する団体や企業の中から 16 団体を選び、ヒアリングシートを配布
- ・実施時期…平成 30 年 9 ～10 月
- ・対象団体…子育て中の保護者、商工会等団体女性部、地域活動団体、子育て中の男性団体、企業など

(1) 団体ヒアリングの結果概要

①家庭での役割について

家庭における父親・母親のありかたについては、母親の役割が重要であるという意見がありました。

項目	意見等
家庭における父親・母親のありかたについて	<p>○どうあるべきかはイメージできませんが、子育てに関しては共同し、協力する関係であると思います。とくに娘が結婚した後の子育てに関しては、地域の人々の関係性が必要ですが、母親の役割が重要です。</p> <p>○各人ができること、得意なことを分担すればよい。子どもにとって必要なものが満たされていれば、どちらがやってもよい。「べき」はない。</p> <p>○お母さんが可能であるなら幼稚園、保育園に入るまでは一緒に遊んで母子でいろいろな経験をしてほしいと思う。</p>

②職場環境について

男性が制度を利用しにくい環境であるという意見が多くありました。また、上司の配慮が足りないという課題もあがっています。

項目	意見等
育児休業制度といった職場の現状について	<ul style="list-style-type: none"> ○上司の理解やリードは必要不可欠だが誰も口に出す雰囲気ではない。学校行事などには多少上司の配慮はあるが、日常における理解は全くない。昭和の対応。 ○制度はあるが、男性はまだまだこの制度を利用するひとが少ない、というのが減所杖あると思う。
職場の現状について	<ul style="list-style-type: none"> ○上司の理解やリードは必要不可欠だが、必要と思う各人が訴えていかなければ変わらない。女性は必要を訴えても男性の意識はなかなか変わらない人が多い。 ○制度があっても男性が積極的に利用しにくい環境なのではないかと思う。

③地域活動における男女共同参画について

仕事や子育てと地域活動との両立については、働きやすい仕組みづくりが必要であるという意見がありました。

また、男性主体の団体が多いという意見が多くありました。また、生活状況の違いにより、時間が合わせづらいという課題もあがっています。

項目	意見等
地域活動における女性の参画状況や、地域活動における女性のありかたについて	<ul style="list-style-type: none"> ○できればみんな平等であれば良いと思う。若い人は忙しいから年寄りやるとか、地域に関わるのは女性だから女性がやるとかではなくなればよいなあとは思いますが実際難しいかなと思う。 ○昔ながらのお祭りなどで、女性が道具を触ってはいけない、など、女性が積極的に関わりづらい現状がある。
仕事や子育てと地域活動との両立について	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な場所に職場があり、パートタイマーでも働くことができる職種が長久手市内に多く誕生することが必要です。ベッドタウンから脱する、自立循環する地域経済が生まれる。新たなビジネスの起業家を排出する仕組みを今から築いていく取り組みが必要です。 ○夫婦のどちらもが家事・育児ができること。また必要な時は、家事・育児を優先できるような環境が整っていること。
活動を通じて市民と接する中で、性的役割分担意識や性別による差別、あるいは地域でのしきたり等について	<ul style="list-style-type: none"> ○行政の意向で運営される、多くの協会の運営に係る市民は、選出の方法が不透明で男性のみ、女性のみと偏って構成メンバーによることがある。代表者の世代交代がすすまないことで担い手不足や一部のメンバーに長期の負担を強いるなどの改善や、新しい発想、新しい取り組みが生まれづらいのではとの感想を持っています。 ○前時代的、現状に合っていないと感じることはあるが、いずれ世代が変われば変わっていけると思う。

項目	意見等
地域活動における男女比について	○どの団体も男性の方が多いと回答
地域活動の中で男女共同参画の課題	○男性主体の団体に少人数の女性が入会しても継続が難しい。会合の時間帯を合致させる事がむずかしい。 ○主婦が子連れでも参加しやすい企画 ○活動の満足度のレベルが違うことや関心、興味の方向がマッチングしないことが多い。
防犯、防災活動における男女共同参画の課題	○年齢の格差がありすぎると高齢者は困るかも。 ○男性女性の役割分担が必要と思います。

④女性の社会参画について

男女の意識改革が必要であるという声が多くありました。就労支援等の環境が不足しているという課題もあがっています。

項目	意見等
自営業、中小企業などの家族従業者における女性の現状・課題について	○家族の協力が不可欠。 ○男女が、家庭、職場等で、それぞれの個性や能力が発揮できる社会が必要であるが、まだまだ、一昔前の男性側にも女性側にも、固定的な考えがある様に思うので、意識改革が必要であると思う。
女性経営者の視点から、職場での家庭と仕事の両立支援などについて	○自分のできる範囲での活動を行っている。 ○女性経営者で有って、男女参画を推し進めていく立場であるならば、男性と同じように、職場での立場を尊重しつつも、家庭と仕事の両立をめざし、家庭間等の係わり方を考えて、意識改革を推し進めなければならないと思う。
女性の就業について、子育て後の再就職や、続けていくにあたり問題と思うことについて	○産休・育休の充実が必要。 ○一企業間での問題ではなく行政の支援が必要だと思う。女性の就業については年齢の壁がまだまだ立ち塞がっている。能力、経験が生かされる就業ルート支援がもっと欲しい。
女性の就労継続や子育て後の再就職などの支援について	○保育所完備等、子どもと一緒に仕事ができる環境が必要 ○能力のある人が、子育て、就業などでチャンスを逃すのは、各分野において損失だとおもう。

⑤男性の地域活動への参画について

地域活動などへの男性の参画状況は男性主体という形態が多いですが、女性も受け入れやすいようにしたいという意見がありました。お互いの理解が必要であるという課題もあがっています。

項目	意見等
地域活動などへの男性の参画状況や、地域活動における男性のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> ○男性主体の形態を続けていますが、女性の会員を積極的に募集し、女性特有の優しさをとり入れ団体の活動にも受け入れやすい会にしたいと思います。 ○定年退職後に何かをしたいという人も多いが何をしたいか、どんな活動が地域にあるのかを広く知らしめることがもっと必要である。 ○地域のイベント、学校行事等若いお父さんの時から参加参画している人は積極的に活動をしていると思う。
仕事や子育てと地域活動との両立について	<ul style="list-style-type: none"> ○活動時間を休日や夜間に設けることも必要か。 ○短時間の活動参加から始めて世間も評価することが必要。理解してくれる仲間同士で始めると成功するかも。 ○お互いの理解が必要

⑥育児や介護との両立支援について

短時間勤務制度、在宅勤務、復職希望登録制度などがありました。

項目	意見等
小学校就学前の子どものいる従業員や介護が必要な家族がいる従業員が利用できる制度について	<ul style="list-style-type: none"> ○育児短時間勤務制度 ○介護短時間勤務制度 ○フレックスタイム制 ○子の看護、介護休暇 ○祝日託児 ○在宅勤務 ○復職希望登録制度

⑦仕事と生活の調和について

長時間労働の是正、柔軟に働けるような制度の導入、管理職層への教育の検討などがありました。

項目	意見等
仕事と生活の調和の実現に向けた、長時間労働、就業形態の見直しについての課題や、今後の取組みの方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ○長時間労働の是正 ○残業時間の抑制 ○厚生労働省の意思の働き方改革に関する検討会の意見書をもとに取組みの方向性を決定する予定 ○柔軟に働けるような制度の導入を検討する ○管理職層への教育の検討

⑧セクシュアル・ハラスメントを防止する取組みについて

防止マニュアルの周知、相談窓口の設置、社内規定での明示などがありました。

項目	意見等
セクシュアル・ハラスメントの防止について	<ul style="list-style-type: none"> ○防止マニュアルの周知 ○研修・講演会の実施 ○相談窓口の設置 ○監視室の設置 ○社内規定での明示

⑩今後の取組みについて

女性採用枠の増加、老若男女が共に活躍できる人事制度の立案などがありました。

項目	意見等
男女共同参画を実現するために、今後取り組んでいきたいこと、その課題等について	<ul style="list-style-type: none"> ○女性採用枠の増加 ○管理職養成研修 ○老若男女が共に活躍できる人事制度の立案 ○若手男性社員がライフを犠牲にしがちになっているため、男性のワークライフマネジメントを可能にする施策の検討

⑪その他、男女共同参画について

その他、以下のような意見などがありました。

意見等
○身長的に差異があるのは仕方がないのだからそれを踏まえた上で平等に働き、生活できる社会の仕組みがほしい。
○共同とか絆とか色々TVなどでは言っていますが、実際は難しい。特に若い人たちは有益、無益で考えている人が多すぎる。もう少し若い人をまきこむようなことができるような内容にしないと難しいと思う。
○子ども達は案外柔軟に考えているのに、私達大人の方が、頭が固いなと感じる。「男女共同参画」という言葉は知っていても、難しくとらえているひとも多いのではないかと思うので、気軽に話し合ったり考えたりできる場があるといいなと思う。
○基本は家庭内の日頃の習慣があれば。
○家庭生活における活動と他の活動の両立が大切である。
○男女に差があるのは当然であるので、それを踏まえ相互に協力する気持ちが必要。